



道路啓開訓練(中)



多重事故救出救助訓練(市役所前)



いざというときに使えるように



ヘリ輸送訓練(敷根公園)



# 平成26年度 静岡県・賀茂地域総合防災訓練

～みんなで築こう明日地域の能力  
任んでよし、任られてよしの伊豆をめぐって～

下田市を含め賀茂郡下で多くの参加者のもと、8月31日(日)に静岡県・賀茂地域総合防災訓練が行われました。今月号では、その訓練の様子を写真を中心にお届けします。  
実際に災害が起きた場合のことを想像しながらご覧ください。

外浦海岸に着岸するLCAC(エア・クッション型揚陸艇)



災害ボランティア設置運営訓練(生きがいプラザ)



支援物資海上投下訓練(吉佐美沖)



医薬品等配送訓練(市内各地)



遺体安置所設置訓練(東伊豆町)



通信設備復旧訓練(市内各地)



炊出し訓練(稲生沢中)



土砂埋没家屋救出救助訓練(元稲梓幼稚園)



厳しい眼差しの静岡県警のみなさん

## 訓練を終えて～考えなければならないこと～

8月31日に、賀茂地域で初めて実施された静岡県との合同総合防災訓練。自衛隊、警察、海上保安庁、消防、米軍等による普段では見ることのできない大がかりな訓練が行われました。LCAC(エア・クッション型揚陸艇)やヘリコプターによる物資やDMAT(災害派遣医療チーム)輸送訓練、観光客や傷病人の避難訓練が指し示す意味とは、伊豆半島はまだ陸の孤島である、ということです。

災害発生時に道路が寸断されてしまった場合、復旧までの間、海路や空路に頼らざるを得ない状況です。そしてその援助もすぐにやってくるとは限りません。食料や生活品の備蓄など、普段の備えをしっかりとするとともに、自助・共助の心で空路や海路で運ばれてくるわずかな物資をみんなで分かち合い、助け合わなければなりません。

今回の訓練では、市民のみなさんによる避難所設置運営訓練や、災害ボランティア運営訓練なども行われ、もしものときに円滑に官民が連動し、避難・救助ができるように再確認しました。

みなさん、改めて、もう一度、自分に何ができるのか、何が必要なのかを考えてみませんか。



救護所運営訓練【トリアージの様子】(下田中)



避難所設置訓練(稲生沢中)